

評価項目について

連携ネットワークの運用を評価する指標として、参加施設数と同意患者数により現状を把握し、例えば活用されていない機能を改善するためにどうすればよいかといった課題に対する検討を行うことがほとんどです。また、連携ネットワークの利用状況を地域住民へ共有することで安心感の醸成等にもつながります。

例えば、厚生労働省の「医療情報連携ネットワーク支援 Navi」には、「びわ湖メディカルネット」について、以下のように記載されています。

びわ湖メディカルネットを活用して閲覧されている患者数は、県推計患者数（平成 26 年 9 月の調査日に受療している患者数）の 16%程度となっており、しかも、直近 1 年間に限った数値では、病病、病診連携が必要な推計退院数（推計退院患者数の十数%）のうち、1/4（7,000 人）以上が同意している。よって、参加医療機関数が限定的であることを考慮すると、利用参加機関におけるびわ湖メディカルネットの利用頻度は比較的高いと考えている。

出典：「医療情報連携ネットワーク支援 Navi」http://renkei-support.mhlw.go.jp/biwako_4/

相互連携により本市全域への展開を考えた場合、共通化された定量的な評価項目を設けることが必要です。